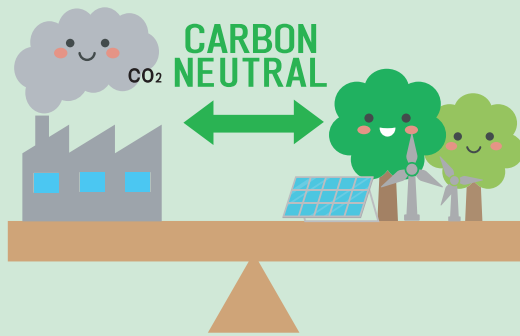


# カーボンニュートラルとは?

温室効果ガスの「排出量」と、「吸収・除去量」を同じにする取り組みです。

まず温室効果ガスの排出量をできるかぎり減らします。

次に、どうしても減らしきれなかった温室効果ガスと同じ量を、森づくりなどで吸収したり、新しい技術を使って除去したりします。



太陽光発電で  
もっと電気をつくれるよ

富山県は水が豊富  
だから、水力発電でたくさん  
の電気をつくっているよ!\*

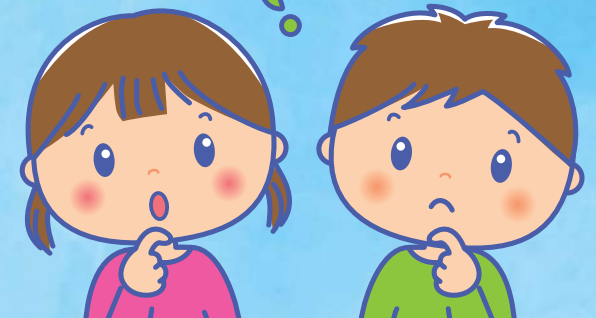


\*富山県の中小水力発電の導入ポテンシャル  
河川:全国5位  
農業用水:全国3位



# カーボン ニュートラル って知ってる?

いっしょに考えよう、とやまの未来



知事政策局長戦略室カーボンニュートラル推進課  
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁南別館3階

詳しくはコチラ

とやまカーボンニュートラルポータル  
<https://www.carbon-neutral-toyama.jp/>



## 1 地球はどんどん暑くなっている？

石炭や石油、天然ガスを燃やして電気をつくったり、自動車や飛行機を動かしたりすると、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの「温室効果ガス」が空気中に増えていきます。

温室効果ガスが増えすぎると、太陽に温められた地球の熱が宇宙に逃げにくくなり、気温が上がってしまいます。

このように地球の気温が上がることを「地球温暖化」といいます。



## 2 このまま地球温暖化が進むとどうなるの？

わたしたちの暮らしや、富山県の自然にも影響がでると考えられています。

大雨などの災害が増える



米や野菜などが育ちにくくなる



気温が上がると、熱中症になりやすくなる



ライチョウの住む場所が減る



## 3 どのくらい暑くなっているの？

たとえば、富山県の平均気温は、過去100年で1.1℃上がっています。

このまま十分な対策をとらなければ、20世紀末と比べて、21世紀末には約5℃近く上がる可能性があります。

地球温暖化による様々な影響を避けるため、「カーボンニュートラル」に取り組む必要があります。

### 富山県の2023年の夏

猛暑日(最高気温が35℃以上の日)	30日
熱帯夜(最低気温が25℃以上の日)	37日

※どちらも観測史上最多



## 4 カーボンニュートラル実現のためにわたしたちができること

- ✓ 節電・節水
- ✓ ゴミの削減・分別
- ✓ 公共交通機関や自転車・徒歩の活用
- ✓ 地産地消、食品ロスの削減
- ✓ 環境に優しいサービス・商品の選択
- ✓ 森づくり活動への参加
- ✓ 省エネ家電への買い替え
- ✓ 再生可能エネルギーの導入
- ✓ 住宅の断熱化・省エネ化



## 5 わたしたちの目指すとやまの未来の姿

これからもわたしたちが地球で暮らしていくためには、できるかぎり早くカーボンニュートラルを達成することが必要です。

カーボンニュートラルの実現に向けて、今すぐできることからいっしょに取り組みましょう。

